

旅行会報告



旅行会報告

旅行会担当副幹事長 西出 眞 吾

〔熱海温泉 新かど旅館〕

平成17年6月11日（土）から12日（日）にかけて、日弁恒例の旅行会が開催されました。西日本弁理士クラブの皆様の便宜等のため、新幹線でのアクセスを考慮して熱海温泉を候補地に挙げました。東京近郊在住の会員の皆様には馴染み深い温泉地ですので、旅館の選択には注意を払いました。新かど旅館は、代議士として著名な鳩山家の別荘であったとのこと、なるほどその佇まいは旅館らしくない、一部屋が広くたいへん趣のあるものでした。ただ、旅館への道路が狭く複雑で、自家用車で参加された皆様にはご迷惑をおかけしました。

今年は、日本弁理士会正副会長会から7名、日本弁理士政治連盟から4名、西日本弁理士クラブから7名、弁理士連合クラブから7名のご参加を戴き、当クラブの57名を加えた合計82名の旅行会となりました。

〔講演会〕

一昨年及び昨年に引き続き、今年も講演会を企画しました。ここ2年の能力担保研修及びその試験に係わる講演もたいへん有意義な講演でしたが、能力担保研修及びその試験も一段落したので今年は趣向を変え、「審決取消訴訟の準備書面における主張立証のポイント」をテーマに選びました。講師には、3年近く東京高等裁判所（現知的財産高等裁判所）において調査官を歴任されたP A会の岡部譲先生をお迎えし、準備書面の良し悪しを実際の経験に基づいて語って頂きました。日常業務においてはなかなか聞き難い準備手続の実態やポイントをお話いただき、参加者にとってたいへん有意義な研修でした。



講師の岡部譲先生

〔宴会〕

講演会終了から宴会までの間に大浴場や露天風呂で汗を流していただき、6時40分に宴会場に集まって集合写真の撮影です。従来はプロのカメラマンにお願いして撮影してもらい、お帰りの際に参加者全員に写真をお渡ししていましたが、今年はその費用を別のところに使おうということになり、幹事が自前のカメラで撮影しました。



平成17年度日弁旅行会（新かど旅館にて）

いよいよ宴会のスタートです。早川裕司幹事の司会で、久保司日弁幹事長の挨拶に始まり、海外出張中の佐藤辰彦会長に代わって谷義一総括副会長からご挨拶を頂戴したのちご臨席の副会長をご紹介いただきました。続いてご来賓である西日本弁理士クラブの小森久夫幹事長、弁理士連合クラブの永井義久幹事長、日本弁理士政治連盟の加藤朝道会長からご挨拶を頂戴し、それぞれのグループのご臨席者をご紹介いただきました。続いて日弁会派を起立形式で紹介したのち、浅村皓日弁常任相談役の音頭で乾杯

し、これ以降は歓談タイムです。

集合写真の費用を何処に廻したかという、実はコンパニオンでした。熱海という「芸者」を連想しますが今年は幹事団が独自に搜索して見つけたコンパニオン軍団15名を呼びました。



〔二次会〕

旅館周辺には気のきいたお店が少ないため、二次会は旅館の中広間で行いました。計画では40名も来てくれれば充分と思っていたのですが二次会開始早々から予想もしなかった人数で幹事も少々慌て気味。二次会に呼ぶコンパニオンは当初5名の予定でしたが、急遽10名に増員して対応。ちょっと予算が心配…。皆さんの熱い語らいは深夜まで続きました。

翌朝玄関でゴルフ参加者の方々を見送って、今年の旅行会も無事終了しました。



日弁ゴルフ大会報告

担当幹事 岡 部 譲

日弁旅行会二日目の恒例行事として、下記要領で日弁ゴルフ大会を行いました。

場所 伊豆大仁カントリークラブ

日時 6月12日(日) 8時45分

富士コース→天城コース(5組)

天城コース→箱根コース(5組)同時スタート

参加者の総勢は35名で、西日本からは5名、連合からは3名の先生も御参加いただき、大変盛会でした。伊豆大仁カントリークラブは富士、天城、箱根の3コースで構成され、プレーするコースの順番が決められていることから、全員同じ条件でプレーすることはできませんでしたが、天候にも恵まれ、終日楽しくプレーすることができました。

結果は、以下の通りです。優勝は無名会の八木秀人先生で、グロス87、ネット71.4の好成績でした。準優勝は南甲クラブの栗原史生先生(グロス95、ネット72.2)、3位は連合クラブの木下實三先生(グロス87、ネット72.6)でした。また、連合クラブの川久保新一先生は39+42=81の素晴らしいスコアでベストグロス賞に輝きました。

プレー終了後、パーティー並びに表彰式を行い、バスで熱海駅に向かい、解散しました。

日本弁理士クラブゴルフ大会 順位表

平成17年6月12日(日) 於：伊豆大仁カントリークラブ

順位	氏名	GROSS	HDCP	NET	順位	氏名	GROSS	HDCP	NET
優勝	八木 秀人	87	15.6	71.4	19	川 和 高 穂	110	32.4	77.6
準優勝	栗原 史生	95	22.8	72.2	20	神 林 恵美子	102	24	78
3	木下 實三	87	14.4	72.6	21	河 宮 治	95	16.8	78.2
4	岡 部 譲	95	21.6	73.4	22	和 田 成 則	95	16.8	78.2
5	川久保 新一	81	7.2	73.8	23	木 戸 良 彦	101	21.6	79.4
6	村 田 実	85	10.8	74.2	24	吉 岡 宏 嗣	111	30	81
7	高 橋 祥 泰	97	22.8	74.2	25	小 泉 勝 義	100	18	82
8	丸 島 儀 一	90	15.6	74.4	26	真 田 有	109	26.4	82.6
9	小 池 寛 治	90	15.6	74.4	27	谷 義 一	114	31.2	82.8
10	永 井 義 久	96	21.6	74.4	28	伊 東 忠 彦	113	30	83
11	中 島 三 千 雄	88	13.2	74.8	29	松 田 正 道	104	20.4	83.6
12	宮 崎 元 成	97	21.6	75.4	30	丸 山 幸 雄	120	36	84
13	河 野 哲	97	21.6	75.4	31	福 田 賢 三	117	32.4	84.6
14	江 藤 聡 明	96	20.4	75.6	32	久 保 司	121	36	85
15	菊 池 武 胤	100	24	76	33	田 中 秀 佳	113	26.4	86.6
16	竹 内 耕 三	102	25.2	76.8	34	木 戸 一 彦	119	31.2	87.8
17	高 橋 俊 一	86	8.4	77.6	35	浅 村 皓	143	36	107
18	福 岡 正 明	104	26.4	77.6	36	貝 塚 亮 平	143	36	107